

令和2年2月4日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

全国屈指の福祉文化先駆都市実現に向けた取組について

～内容～

福祉王国プログラム2020について調査するもの。

～質疑～

問：(仮称)地域包括会議は、どのような方が入るのか。若い人たちの気持ちや意見を聞くために、そういう方にも会議に参加してもらう必要があると思うがどうか。

答：(仮称)地域包括会議を立ち上げるにあたり、現在は情報収集を行っている。地域づくり協議会の会長にお会いして、地域の課題等についてフリーな意見交換を行っている。いろいろな団体や若い方々とも懇談会を開催していきたい。

問：高齢者支援において、宅地建物取引業協会との連携については具体的に何を考えているのか。

答：高齢者の実態把握において、地域包括支援センターに状況把握をお願いしているが、アパート等の高齢者は状況把握が難しくなっている。宅地建物取引業協会に協力してもらい、一人ひとりの高齢者の状況把握をしていきたい。

第2期総社市子ども・子育て支援事業計画について

～内容～

子育て支援の総合的な計画を策定する事業計画の令和2年度から令和6年度の第2期計画について調査するもの。

～質疑～

問：ひきこもり、いじめ、自殺、不登校、全てに関係している、性の多様性における子どもたちへの対応はどこの部署で対応し、どこに目標を置いているのか。

答：幼い頃からの配慮や子どもの持つ力を伸ばせるような関わりが大切だと考えている。学校や保護者を対象とした講座を開催したり、地域ぐるみの取組を推進できるような教育現場等とも連携を図ったり、性について地域で気軽に相談できるような場を作っていく。

問：保育士が足りない現状があるが、確保するための方法は何か考えているのか。

答：保育士ができるだけ長く勤めてもらえるように負担軽減を引き続き行う。また、保育士支援金を支給するなど離職防止を図る施策を進めていく。

報告事項

平成30年7月豪雨災害仮設住宅入居者に対する再建先の 調査結果について

～内容～

再建先の聞き取り調査の結果について報告を受けました。

～質疑～

特になし

令和2年度国民健康保険の税率について

～内容～

令和2年度の国民健康保険税率の考え方について報告を受けました。

～質疑～

なし

令和2年度“歩得”健康商品券事業について

～内容～

令和2年度の事業の変更点について報告を受けました。

～質疑～

問：令和元年度の健診を受けた人数は把握しているのか。健診率の目標を立ててはどうか。

答：健診を受けたのは延べ3,681人である。健診を受けることは非常に有効なことであるので目標設定をしたい。

重度要介護者介護用品等引換クーポン券交付事業について

～内容～

重度要介護者を在宅で介護している方の経済的負担を軽減するために、これまで実施していた4つの事業を統合し、令和2年度から介護用品等と引き換えができるクーポン券の交付事業に変更することについて報告を受けました。

～質疑～

問：制度を知らない方が多いのではないかと。もっと積極的に制度を知らせることが必要であると考えがどうか。

答：この事業の利用者は80人程度である。皆さんにケアマネジャーが関わっているの

で、ケアマネジャーを通じてこの制度をお知らせしたい。

2020 そうじゃ吉備路マラソンについて

～内容～

2020 そうじゃ吉備路マラソンの準備状況について報告を受けました。

～質疑～

問：ランナーにマスクを配布することのだが、岡山県内に新型コロナウイルス感染症の患者が出た場合、マラソンの実施はどうか。

答：今後、協議を進めていく。現時点では大会は実施する方向で動いている。

問：マラソン実施は土地や交通の規制がかかるが、参加しない市民もいるわけで、参加しない市民への配慮はどうか。

答：沿線の市民へは多大な負担をかけている。一軒一軒チラシを入れたり、在宅の方にはお声をかけたりしている。

総社小学校運動場等整備工事の進捗状況について

～内容～

付属棟整備、新運動場整備、駐車場等整備の工事の進捗状況について報告を受けました。

～質疑～

特になし

令和2年度保育所等の申し込み状況について

～内容～

令和2年度保育所等の申し込み状況について報告を受けました。

～質疑～

なし

いじりの認定こども園園庭工事について

～内容～

園庭整備工事と周辺整備について報告を受けました。

～質疑～

なし

G I G Aスクール構想の実現について

～内容～

I C T環境の整備のため、1人1台の端末及び高速大容量の通信ネットワークの整備を行うことについて報告を受けました。

～質疑～

問：G I G Aスクールの整備において、市の負担はどの程度を見込んでいるのか。また、P C等の更新時の費用についてはどのように考えているのか。

答：端末購入で3億円、L A NケーブルやW i - F i環境の整備で2億円から3億円がかかり、補助としては校内の整備費用が対象となっている。校外の回線等の整備で1億円程度かかると見込んでいる。全体として5億円から6億円程度かかり、市の負担はそのうち2割から3割程度となるため、慎重に考えながら事業を進める。P C等の更新時の費用については、国に問い合わせているが、まだ返事がない。

問：I C Tは道路とか水道、ガス、そういうインフラの1つと考えるが、どのような考えで整備をしていくのか。

答：I C Tの力は必要不可欠となっており、技術的に使いこなすだけでなく、正しい情報を得て、正しい情報を取捨選択して、どういう形で発信していくかということも含めて、よく考える子どもが求められている。早い段階からこういったものに接して、いい失敗をしながら育つ環境を作っていく。